

一般質問概要

平成 29 年 12 月定例会 No.1

発言 順位	氏名(会派) [質問方法]	項目	要旨	
1	松 隈 清 之 (自民党鳥和会) [一問一答]	1. 障害者支援について	1. 発達障害者の支援体制について 2. 障害者の自立支援について	
2	樋 口 伸 一 郎 (自民党鳥和会) [一問一答]	1. 障がい児・者への援助・支援制度 2. 子育て支援における早急を要する対策	1. 補聴器に対する補装具費の支給 2. 人工内耳体外機に対する助成制度 1. 保育士等処遇改善策	
3	藤 田 昌 隆 (新風クラブ) [一問一答]	1. 国体に向けての種目等の進捗について 2. 東部ゴミ処理施設の進捗状況について 3. 通学時の児童の安全について	1. 鳥栖市の実施する種目について 2. 種目決定後の施設改修について 3. 鳥栖市民体育館(空調関係)、ベストアメニティスタジアム(芝管理)、陸上競技場等の今後施設のあり方について 1. 建設検討委員会の構成・協議内容ほか、今後のスケジュールについて 2. 最終の事業者決定までの工程について 1. 児童の通学時間と通学実態について 2. スクールバス等の考え方について	
4	中 川 原 豊 志 (自民党鳥和会) [一問一答]	1. 土地利用構想調査について 2. 都市計画道路について 3. 鳥栖駅周辺整備事業について	1. 土地利用構想調査の状況と今後の予定について 2. 国家戦略特区申請の状況と今後について 1. 都市計画道路見直し検討業務の状況について 2. 今後の予定について 3. 市内全域の道路整備について 1. 進捗状況について 2. 都市計画道路見直しとの関係について 3. 自動車を含めた東西連携について	
5	中 村 直 人 (社会民主党・小さな声の会) [総括]	1. 新年度予算の基本的考え方について 2. 財政計画について	1. 市長の基本的考え方について 2. 各部・各課の中心的課題について 1. 大型事業等に対する財政計画	
6	江 副 康 成 (自民党鳥和会) [一問一答]	1. 西九州ルートとの動向と新鳥栖駅関連整備について	1. 現在建設中の嬉野温泉駅、武雄温泉駅を石井国土交通大臣が視察された翌日12月3日、嬉野市において「新幹線まちづくりシンポジウム」が、新幹線駅ができる5市の市長を交えて開催されました。西九州の玄関口を謳い佐賀長崎両県の力を結集して作られた新鳥栖駅を持つ鳥栖市としては意義深いものがあると考えます。 そうした中、当初の計画に描いたように新鳥栖駅が発展の歩みをしているかを問うと、いろいろな課題が見えてまいります。 そこで、今回は「新鳥栖駅を中心とするまちづくりについて」を中心テーマとして、前回に引き続き、大型公共事業の進め方について議論させていただきたいと思っております。	

発言 順位	氏名(会派) [質問方法]	項目	要旨	
7	久保山博幸 (自民党鳥和会) [一問一答]	1. H29年鳥栖市議会 選挙を受けて	1. 市内の投票動向について 2. 低投票率の要因について 3. 今後の取り組みについて	
		2. 子どもたちを応援する 施策について	1. 「放課後を子どもたちの手に戻す」の観点より学童保育の現状と 今後についておたずねします	
		3. 鳥栖駅周辺まちづくり 計画について	1. 東西連携の実現性を中心におたずねいたします	
8	尼寺省悟 (日本共産党議員団) [一問一答]	1. 教職員の多忙化に ついて	1. 教職員の多忙化の実情をどう把握しているのか 2. 給特法とは 3. 中教審の緊急提言についてどう考えるのか 4. 緊急提言が示している、「勤務時間」を意識した働き方をどう具 体的にすすめるのか 5. 教師不足について	
		2. 中学校完全給食	1. 選択弁当で供給が不足していると聞かすが、どう対応するのか 2. 完全給食はいつから実施するのか。いまだに実施の目途があ らないのは、何が問題なのか	
		3. 国保税について	1. 11月に県が公表した税率の仮算定によると、鳥栖市は現行より も高くなるとされているが、なぜか。「確定係数」による算定結果 の見通しは 2. 今回の仮算定では、法定外の繰り入れは除外して計算したなど が指摘されているが、どうか 3. 保険税が上がる場合、上がらないような手立てをとるべきだと考 えるが、どうか	
9	飛松妙子 (公明党) [一問一答]	1. 多胎児(双子や三つ 子など)を安心して産 み、育てられる環境 づくりについて	1. 多胎児出生の現状と多胎児の出産及び育児にかかわる課題 2. 多胎育児支援の現状(出産から子育てまで) 3. 多胎育児家庭に対する支援について 4. 社会的偏見への対応	
		2. 女性や若者の声を 市政に反映させる取 り組みについて	1. 女性や若者の声を市政に反映させることへの見解を伺う 2. 女性や若者の声を市政に反映させる取り組みについて	

発言 順位	氏 名(会派) [質問方法]	項 目	要 旨	
10	西 依 義 規 (新風クラブ) [一問一答]	1. 橋本市長の明日の ための5つの約束よ り、鳥栖駅周辺整備 による鳥栖市中心部 の活性化について 2. 橋本市長の明日の ための5つの約束よ り、スポーツ施設充実 で運動による健康長 寿日本一について 3. 橋本市長の明日の ための5つの約束よ り、土地の有効活用 で躍動する産業活動 環境の構築について	1. 都市整備用地(スタジアム南側駐車場)の活用策は、新たな都 市機能の導入方法は 2. 今回の整備で中心市街地の活性化が本当に図れるのか 1. (仮称)健康スポーツセンターの事業再開はいつか、建設場所 は都市広場等も含め再検討すべきでは 2. スポーツ施設充実とあるが、その他のスポーツ施設の充実やジ ョギングコースの整備等も検討してはどうか 1. 今回の連携を活かし、鳥栖 JCT 付近の課題や道路網を小郡市 と基山町で協議してはどうか	
11	牧 瀬 昭 子 (社会民主党・ 小さな声の会) [一問一答]	1. 北部九州豪雨災害・ ボランティア派遣事 業の進捗状況 2. 鳥栖市における間伐 事業の実態について 3. 新市庁舎建設設計 について(再生可能 エネルギー等)	1. 9月に職員派遣とその後の市民ボランティア派遣準備の被災地 との状況確認 1. 鳥栖市内における間伐の状況 2. 防災事業としての間伐に国の補助金を使えないか？ 3. 間伐材の鳥栖市産材の活用事業展開は現在どのようなものが 計画されているのか？ 1. どの位のガス代や電気代が市役所内で使われているのか(食 堂等を含む)？ 2. 新市庁舎になる時、自然エネルギーの活用によって、現在のエ ネルギー使用量に比較してどの程度削減予定か？ 3. 鳥栖市の間伐材を用いて、再生可能エネルギーを活用すること で、エネルギーの地産地消化 4. 木質バイオマス発電、発熱による、給湯や暖房(温水を館内に 循環させる)、温水を生かした「市役所銭湯・温水プール」 5. 当事者の意見を審議会に反映する仕組みを作る 6. 市役所のバリアフリー化(車椅子、聴覚障害者、視覚障害者)、 託児スペース又は防音施設	
12	伊 藤 克 也 (新風クラブ) [一問一答]	1. 健康長寿とフレイル 予防について 2. 子どもの貧困対策に ついて	1. フレイル予防と必要性について 2. 本市の取り組みは 3. 今後の展開について 1. 教育現場での把握と認識について 2. 食と学習支援について 3. 学習支援拡大の必要性について	

発言 順位	氏 名(会派) [質問方法]	項 目	要 旨	
13	成 富 牧 男 (日本共産党議員団) [一問一答]	1. 公立保育所の定員 割れ解消について 2. 地域公共交通連携 計画について 3. 市営住宅について 4. 子どもインフルエン ザ予防接種費用の助 成について	1. 今年度も有効な手が打たれないまま来年度の児童受け入れの 時期を迎えようとしている。これ以上の怠慢は許されない。何ら かの手を打つべき時では 1. 高齢者等の移動手段の確保は切実さを増している。ミニバスの 現路線の拡充・延伸を積極的に検討すべきではないか 1. 築50年を経過した市営住宅は、老朽化が著しいにもかかわらず、 今後鳥栖市がどうしようと考えているのか不透明である。入 居者からは不安と不満の声があがっているが、 (1)今後、具体的にこの住宅をどうしようと考えているのか (2)市営住宅の修繕等の入居者側負担の基準は 1. ワクチン接種費用の助成が県内でも広がりを見せている。基山 町でも一部助成が行われている。個人の感染予防や重症化防 止、集団での感染防止と子育て家庭の経済的負担の軽減に有 効であり、本市でも実施してはどうか	
14	池 田 利 幸 (公明党) [一問一答]	1. ミニバスの運用につ いて 2. 高齢者のサポート体 制について	1. 利用者の現状について 2. 現在の交通空白地域について 3. ミニバス路線の延伸について 4. デマンド交通の導入について 5. 今後の公共交通の在り方について 1. 65歳以上の人口と世帯数の現状と、その課題について 2. 鳥栖市の取り組みについて 3. 取り組みに対する効果と課題について 4. 白石町で実施している「かせすっ券」について	
15	下 田 寛 (新風クラブ) [一問一答]	1. 幼保小の連携につ いて 2. 教職員の多忙化へ の対策について	1. 「生きる力」を育む対策として、様々な方針が打ち出されてい る。国の動向を踏まえ、幼少時から小学校にかけて連動した政 策が必要であると考え 1. プログラミング教育や英語教育などが義務教育に追加される。 これに伴い、教員の多忙化についても対策を講じる必要がある と考える	